

教えて 玉田センセー！

この文章は、バドミントン指導者向け DVD 【1033-S 中学生から始めるバドミントン“ラケットワーク”習得法】で指導・解説頂いた玉田先生が、部活動指導で悩む若手教員たちから出た質問、疑問に答えた内容をまとめたものです。日々の指導にご活用下さい。

【目次】

- はじめに
- パート① 部活動運営について
- パート② 試合、勝負について
- パート③ 生徒との接し方について
- パート④ 校務、授業、家庭との両立について
- パート⑤ 保護者対応について

【はじめに】

部活顧問は大変です。毎日の授業、クラス経営、校務分掌。やらなければいけないことは山積し、時間は限られている。家庭があればさらにやるべきことは増えます。そんな中で部活動に携わり、なおかつ勝とうだなんて神業としか思えませんよね。

今回は現役中学教師、2年生クラス担任、5クラス国語担当（20時間！）、全国大会15回出場のタマダセンセーが、地元若手クラブ顧問たちの切実な30の悩みに誠実に答えます。そんじょそこらで見られるものではありません。必見ですよ。

【パート① 部活運営について】

Q.男子の指導と女子の指導は違いますか？

- A. まずですね、男子と女子の差という質問自体がイマドキではないと理解しておいた方がいいです。(笑)それをふまえて、あえてお答えします。違うと言えば違うけど、無視する。ということです。一般的に男子はほめて育てる。女子は怒って育てる。と言われます。まあ確かに男子はノリノリでいった方が結果が出ますし、時々見捨てても大丈夫です。女子は叱って叱って、辞めろと叱り、辞めると言ったら、なぜ辞めるんだと叱る。絶対に見放さない。というのが私のイメージです。女子向きの先生はネチっこく、男子向きの先生はあっさりしている。とも言われますね。練習も男子は目先を変えてやらなければ飽きるし、女子は長い時間かけなければ身につきません。四条畷の片岡先生なんかは、午前中一つ、午後一つ練習の指示をするだけでした。僕は粘れないので男子向きですが、叱って育てるタイプです。ノリノリで行って勝ち切れる実力があるならいいですが、上の大会に行けばそうはいかない。どれだけプレッシャーのかかる場面で辛抱できるかということを見ると、日常でプレッシャーがかかる練習をしなければしかたないでしょう。全国をかけて最後はその差が出ます。日々模索中とも言えます。サッカーの畑先生のボトムアップ理論を取り入れようとか、笑いヨガをやってみようとか、今現在もいろいろ考えていますが、専門外のものはアレンジが難しいですね。平岡南の練習は一つの技術取得に1時間くらいかけます。中身を細かく割って5分刻みくらいにして飽きないようにしています。男女一緒にしているので、どちらかに合わせるわけにはいきません。いろいろやって今の形に落ち着きました。男女でやるといいこともたくさんあります。男子は女子がいるだけでがんばりますし、アホな男子がいると女子の凝り固まった人間関係にスーッといい風が吹きます。技術的にも女子は男子のスマッシュを受けることができるし、男子は女子の粘り強さを学べます。僕は男女でやるのが好きですね。

Q.朝練はどうしてますか？

- A. 朝練は7:30~8:00。体育館は週2回。ランニングやトレーニング、基本練習をしています。ランニングは4キロくらい走っていた時もありましたが、今は200m(400m)×5本のインターバルが多いです。陸上や野球は進んだトレーニングをやっています。教えてもらおうといいですよ。トレーニングよりもラケットワーク優先は正しいですが、やっぱりトレーニングも大切ですよ。夕日に向かって走るとか。体幹が強い子は崩れないです。

Q.準備片付けのコツはありますか？

A.学年関係なく来たものから準備する。練習が終わったら、5分で体育館を出る。ミーティングが終わったら5分で校門を出る。ネットリーダーとか、ポールリーダーとか全員がやるべきことを決めていた時期もありましたが、今は各自の自主的な行動に任せています。

Q.集金はどうしてますか？

A.2か月毎に3,000円現金を封筒に入れて集めます。一時お金を全て親に任せている時期もありましたが、最近はこちらで管理して、年に一度会計報告をし、保護者会で領収書を見せています。お金の管理は大切です。保護者に不信感を持たれないようにしっかり管理しましょう。

Q.羽根はどう買ってどう使うのがいいですか？

A.羽根の使い方は悩みの種ですね。平岡南では生徒会からの年間60,000円と、月に1,500円の集金でほぼ賄っています。いろいろなシャトルを試しました。ネットで売っているシャトルも使ってみました。うちの部では手投げノックをよくやるので、つぶれ方も考えると、ヨネックスのエアロセンサーに落ち着いています。それにしても高いですね。ニューオフィシャルのほうがいいかもですが、値段を見ると目まいがして手が震えて買えません。

Q.B,C練習について教えてください。

A.前任の平岡中学校時代から実施しています。チームをB,Cに分けます。Cチームはチャレンジ(challenge)チームです。このチームは団体メンバーに入って全国大会を目指します。それほどの実力はないけれど、自分の限界に挑戦したいという人も入れます。Bチームはベーシック(basic)チームです。基本を身につけ、楽しくバドミントンを学びます。平日1日、週末1日休みがあります。B,Cの出入りは個人の希望でおこないます。自由に出入りしてかまいません。個人戦の出場権はBC横断した番手戦で決めます。これからは、今までのような練習形態では練習できなくなる状況にあります。ただ、どんなシステムであってもやり方を工夫することで効果を上げることができると思います。工夫しましょう。

Q.連絡網はどうしていますか？

A. これはもうラインですね。グループラインで回しています。これより便利なものはありませんね。直で入ってきますが、まあ仕方ないですね。

Q.練習予定はどんなふうに出していますか？

A. 練習予定は最低 2 週間に一度は更新します。これ以外に試合、遠征予定表を出します。予定がはっきりしないと選手もお家の人も困ります。予定をはっきりわかりやすく知らせることは信頼の第一歩です。信頼してもらうことはとても大切です。お家の人の気持ちになって連絡は絶対にまめにしてください。

平岡南中学校バドミントン部 予定表										5月29日	
5、6月	8	11	13	15	18	練習予定	備考				
28	月					小	C休み				
29	火					小	B休み				
30	水					小中		野外活動			
31	木					小		野外活動			
1	金					小中					
2	土	園田サマーキャンプ 南中1300~1830									
3	日	園田サマーキャンプ 南中800~1300					B休み				
4	月					小	C休み				
5	火					小	B休み				
6	水					小中					
7	木					小					
8	金					小中					
9	土	練習試合(宝殿中学校)					選手以外休み				
10	日	南中800~1300					B休み				
11	月					小	C休み				
12	火					小	B休み				
13	水					小中					
14	木					小					
15	金					小中					
16	土	新居浜オープン(新居浜市民体育館) 南中1300~1830					B休み				
17	日	新居浜オープン(新居浜市民体育館)					選手以外休み				
18	月					小	選手は1時間練習				
19	火					小	選手は1時間練習				
20	水					小中	選手は1時間練習	期末テスト			
21	木					小	選手は1時間練習	期末テスト			
22	金					小中	15:00~	期末テスト			
23	土	南中800~1300									
24	日	南中800~1300					B休み				
25	月					小					
26	火					小					
27	水					小中					
28	木					小					
29	金	加古川市総体(男:山手中、女:浜の宮中)									
30	土	加古川市総体(男:山手中、女:浜の宮中)									
7/14、15 東播総体(日岡山体育館)、28、29 (県総体:一宮体育センター)、8/2 全日本Jr予選(宝殿中)											
8/9、10 近畿総体(東大阪アリーナ) 8/18~21 全国総体(山口県・維新記念公園)											

Q.体育館があまり使えません。

A. 平岡南では体育館（3面）が平日週2回、土日は1/3使えます。朝練も週2回です。これではとても足りないので、近くの小学校（3面）と交渉して平日16:00～使わせてもらっています。基本的に中学校には小学校があり、小学校の16:00～18:30は社会体育も使いません。これを使わない手はないですよ。ただ、小学校には何のメリットもありませんし、中学生が入ることを嫌う校長もいます。過去に中学生のイタズラがあって、平岡南も出入り禁止状態でしたので、草引きやトイレ掃除をしてわかってもらいました。長期休みの明けには体育館の倉庫まで空にして体育館全体の掃除をします。入学式や卒業式の前には窓ふきをします。小学校では掃除の手が足りないので、そういう手伝いをすれば喜んで貸してくれますよ。

Q.練習で大切にしていることは何ですか？

A.一言では言えませんので、生徒にアンケートを取ってみました。
題してタマダセンサーの口癖ベスト10

- 1 時間がいっぱいある人間のような行動をとるな
- 2 気づけ、動け、発信しろ
- 3 人の役に立てる人間になれ
- 4 優しさが無い
- 5 行動で示せ
- 6 同じことばかりするな
- 7 学校のルールが守れないヤツは来るな
- 8 工夫しろ。考えろ。ひねれ。
- 9 思ったことを言え。心の中から出てきた言葉を大切にしろ。
- 10 人生で一番言ってはいけない言葉は「どうせ」

Q.ラケットのテンションは指導していますか？

A. 男子は固いラケットを使いたがります。テンションも高く張りたがります。でもそれはミスのもとです。ラケットに羽が絡む方がいいので男23ポンド、女21ポンドまでにしておくように指導しています。これは広島の高木先生の指導です。

Q.強打させるためにどんな練習が必要ですか？

A. 高校生になったら大人になったら誰でも強い球を打ちます。ということは大切なのは強い球の打ち方ではなく、柔らかい球の打ち方になると思います。が、そうですね。まず体の使い方。足の力の伝え方。ひじの使い方、左手の使い方、ラケットの使い方になると思います。特に中学校から始める子はラケット面がルーズです。まっすぐ使っていると書いてもカットしている。カットしていることがわかっていればいいですが、自分はフラットで打っていると思っているから、タマが遅くなるし、ミスが生じる。愛媛の西原先生（Japanlaim 既出）は「全ての球はカットカリバースである。スマッシュはその中でタマタマまっすぐ打っている球である。」と教えていただきました。なるほどよくわかります。

【パート② 試合、勝負について】

Q.ズバリ勝たせるコツは何ですか？

A.いやもうそんなものがあるなら教えてほしい（笑）。毎年毎年目の前の勝負に全力を注ぎこむのみです。そんな中でも、僕が心がけていることは、その年の夏が終わった瞬間から、次の年の夏のブロック大会のオーダーを考えるとということですね。まず1年生が入った時には3年生になった時のオーダーを考えます。ずっといろいろなオーダーを考えている。そこから逆算して考えて県大会、地区大会、さらに逆算して新人をどうするかということになる。最後の夏を勝たせるために、目先の勝負には目をつむることもあります。もちろん思った通りにはなりませんし、状況は変わりますが、その都度考え続けます。最終は5、6月の遠征で「今年はこれでいくよ」ということを伝えます。オーダーも迷いますが、最終的には「こいつで負けたらしょうがない」というやつを使います。これまで15回ほど全中に出ていますが、圧倒的な力が出たことなど一度もありません。必ずどこかでエースが負ける展開があります。2ダブにはその時の心の準備をさせておく必要があります。そういうことを知っておくことは必要ですね。

Q.勝負強いとはどういうことですか？

A. 心の強い弱いを言うのは好きではありません。形のないものは指導しきれないからです。プレッシャーでミスをする子は、ちょっとした心の動揺でミスをしてしまう技術の未熟さを指摘するべきです。ミスが起こる状況を再現し繰り返し練習しましょう。指導者ができるのは、起こりうることを予見し、選手に予告し、心や技術の準備をさせておくことです。本当にここぞというところで勝ってくれるエースはいましたが、それは彼の資質によるもので僕の指導ではありません。

Q.試合前のコンディション作りについて教えてください。

A. 普段の生活ですね。普段の生活をきちんとさせる。よく寝る。よく食べる。やるべきことをきちんとやる。身の回りの整理整頓を心掛け、周囲に気を配る。「心は常に戦場にある」と言います。明日全国を決める試合があるように生活し、試合では日常を持参する。普段からグダグダしてるなら試合でもグダグダするべきです。

Q.ダブルスをさせるかシングルスさせるかはどう決めていますか？

A. 基本的には本人の希望です。選択するのは総体の時ですね。それまでに「シングルのほうがいいね。」とか「ダブルスに向いてるな。」みたいなことは言いますが、最終的には自分の希望です。総体の時は参加希望調査を出します。実力がそんなに変わらなければ3年生を出しますが、明らかに下級生が優位の場合は番手を優先します。3年生の希望はできるだけ優先します。「ダブルスの希望は相手を書いてくれないと実現しないから、あんまり番手が離れた子を書いても無理やで。」と言います。また、団体でダブルスで使いたいけれど、本人がシングルスでの出場を希望している場合は「ダブルスの練習しかしないけれども、それでもシングルで出たいか？」とは聞きます。普段のダブルスのペアリングについては、希望を聞くことはありません。基本的にシングルの番手で組みます。気が合うとか合わないとかは考慮しません。ダブルスでは互いのやるべきことをやるだけで、気を合わせる必要はないからです。誰とでも組めなければいけません。ただ、前衛で球を配給できる子は少ないので、前衛タイプが重ならないようには配慮します。下記のようなフォーマットで希望を聞いています。

中体連参加希望調査

年	組	名前
シングルスで出場したい		%
ダブルスで出場したい		%
出場できるならどちらでもいい。		
ダブルスで参加する場合組みたい相手。(必ず書くこと)		
①	②	③

Q.大きな試合に向けての心構えは何かありますか？

A. 3 つあります。1 つは宿泊練習です。大きな試合はたいてい宿泊を伴います。中学生がみんなで宿泊なんかしたら、眠れないのが当たり前だと考えるべきです。宿泊を伴う試合や大会に参加し、宿泊の練習をさせるべきです。できれば眠れないと勝てないということがわかるような経験ができればいいですね。平岡南では年間 5 回くらいそのような遠征を行います。お金がかかって恐縮ですが、お願いするしかないですね。もう 1 つは、試合当日、朝家を出たら試合が終わるまで、家の人と話をしないということです。これも広島の高木先生に教わりました。子どもと親の関係は様々です。親の前では心がゆるむ子がいますし、逆に緊張する子がいます。チーム全員が一丸となってこれから戦う時に戦闘モードに入れない子がいると困ります。僕は次のようなことを総体前に保護者に伝えます。

さて、大会に当たり一つお願いがあります。

それは、体育館の構造上、こっそり遠くから見ると言うことが難しいのですが、試合が終わるまで、お家の方は選手には話しかけないでほしいということです。そばに寄らないでください。座席はできるだけ離してください。

彼らは一世一代の勝負の場所に出て行きます。果し合いにゆくのです。心が緩んでも、固くなってもよくありません。集中して試合に臨みます。

しかし、そこで家族や親せきに会うといろんな心が湧いてきます。親というのは家族というのは、それくらい大きな存在なのです。親を見ると子どもは安心します。あるいは逆に緊張します。話をすると揺らいだり、和んでしまって闘志を失ったりします。あるいは気持ちが空回りします。数日前から私たちはその日をピークに持つて行くために調整します。親と一緒に居て緊張が解けて良くなる場合もありますが、その逆もあります。試合の前に、不確定な要素は排除したいのです。「がんばれよ」という心は抑えて、話は終わった後あるいはお家をお願いします。自分の子以外の選手にもできるだけ接触しないでください。伝言や渡すものは教師を通じて頂くとありがたいです。

3 つ目に、団体戦が終わった子と個人戦が残っている子は一緒にしてはいけません。試合が終わった子は心が緩みます。当然のことです。部屋を別にしよう心掛けるべきです。

Q.試合中のアドバイスで心がけるべきことは何ですか？

A. 第一に水分をとらせます。次にアイシングをする場合は脳に行く血液を冷やすために、首の横につけます。首の後ろにつけるより効果が高いと思います。さて、アドバイスですが自分で考えられる子には、「どうやってる？」と聞きます。その答えに合わせて話しますね。アドバイスが入る子には短い内容を整理して伝えます。アドバイスの基本は① 話すことは3つくらいまで。② できないことを言わない。③ 復唱させる。の3つです。具体的な指示が望ましいです。「攻撃的にいけ」よりも「上がったらスマッシュから入れ。」みたいな。心が入りすぎてアドバイスが入らない子もいます。そういう子には「トンコツと醤油のどちらが好きや？」みたいな会話をします。「あの得点付けかわいいなあ。どちらがいい？」とかね。ケースバイケースですが。

Q.団体メンバーを選ぶときに心がけていることはありますか？

A. 番手順です。ただ、ダブルスの組み合わせや、校内では強いけれど、外では弱いみたいな生徒は、練習試合を通じて納得させますね。まず1シングルス、1ダブルスを選ぶパターンと、2ダブルスを選ぶパターンがありますね。そして2ダブルか1シンを選びます。残りの2人は3ダブルを入れる場合があります。シングルが迷っていたり、ダブルスに回る可能性があるならシングルスを選ばず1人を選びます。その時に残りの1人をどうするかですね。まずまず試合に出ない1人です。3年生を連れていく意味はありません。来年のメンバーを連れていくべきです。試合に出る可能性のない3年生は自分でも出ないことがわかっていますから、心が緩んで足を引っ張ります。温情で3年生を連れていけば、心も楽し、説明の必要もないけれど、やっぱりよくなかったですね。

【パート③ 生徒との接し方】

Q.生徒指導上問題のある生徒はどう扱っていますか？

A.平岡南中バドミントン部規則第1条は「宿題をする。」2条は「学校の決まりを守る。」です。これができないと練習できません。ですから生徒指導上問題があっても、宿題をして学校の決まりを守れるなら大丈夫です（笑）。これができたら問題生じゃなくなるでしょ。逆に、どんなにバドミントンがうまくてもこの二つを守れないと試合にも出させません。これくらいの辛抱ができない人間に何かできるわけありませんよね。

Q.発達障害のある生徒を指導するときに心がけることは何ですか？

A.昔、発達障害という概念が出回る前のことです。男子キャプテンで勉強はできる方なのに、授業中に歩き回る子がいました。「お前ふざけるな。」と怒っていたのですが、ある時担任が「試合の前になるとひどくなるんですよ。」というんです。じゃあ無意識じゃないか。ふざけてるわけでも、悪意でもないんだ。とわかったわけです。今から思えば多動ですよ。だからと言って指導が変わるわけではありませんが、悪意じゃないとわかれば指導も違ってくるといえるものです。

人の話をうまく聞けない子がいます。こういう練習をするんだと見せてから練習を始めても、ちゃんと聞いてないからできない。自分勝手なことをして練習を乱す。乱暴だから周囲も何も言えない。技術が身につかないからうまくならない。

ちゃんと言ってやった方がいい時があります。「あのなオマエを怠け者だという人もいるけど、先生はそう思ってない。オマエは人の話をちゃんと聞くことができない人だと思ってるねん。先生の話も3割くらいしか聞けない。だからいつも人の話をちゃんと聞きなさいと怒られてきただろ。だから練習の時も自分勝手だと思われるんや。でも、オマエは本当はちゃんと練習して強くなりたいと思ってるんだろ。だから、いつも人に聞きなさい。今どんな練習をしているのか。自分がやっていることはこれでいいのか。ずっと人に聞いていると、ああこの子は乱暴者じゃなくてわからないだけなんだと、みんな分かってくれる。そしたらもっといろいろ教えてくれるよ。」その子はちょうど悩んでいた時だったのでうまくはまってよくなりました。すると、人の話も聞けるようになってきたんですよ。

先生の中には発達障害があるというだけで、もう指導が入らなくて当たり前だと思っている人がいる。発達障害はその子の理解を助ける手段に過ぎない。その子が社会で生きていけるように実際的な知恵をつけてあげるべきだと思うわけですね。

Q.塾に行く生徒、休みがちな生徒はどうしますか？

A. Bチームはいくら休んでも大丈夫です。部のルールさえ守っていれば欠席してもかまいません。Cチームは団体戦をメインに掲げていますので、あんまり休まれると「Bチームでいけば。」と言いますね。もともとうちの部は欠席フリーです。「試合に差し支えなければ、家族旅行もどんどん行ってください。」と言ってあります。休んでたらみんなに抜かれる。勝てなくなると思わせるような練習をしていたら、休まなくなりますよ。

Q. 「帰れと言ったら帰ってしまう生徒」はどうしたらいいですか？

A. 「帰れ」と言ったんだから帰りますよ。当然じゃないですか。好みだと思いますが、僕は「帰れ」と言ったら帰ってほしいです。生徒が先生の正解ボタンを探して「何て言ったら先生は許してくれるかな」と相談する姿は好きじゃない。先生の気分で帰らされていると思っているんですね。ルールは明快にしておくべきです。「こういうことをしたら（しなければ）帰る。」「できるなら次の日には来る」「できないのなら永遠に来ない」でいいじゃないですか。次の日もだめなら帰らせる。「やる気がない」で帰すのはよくない。「やる気あります」で水掛け論になるから。「やる気がないように見える」といえばいいです。それは間違いではないでしょ。やる気は見えません。行動で示さなければだめです。「何で帰らなければいけないんですか？」と食ってかかるのはOKです。行動をしているから。行動できないのは気持ちがないことと同じです。「好きだ」と言わなければ伝わらない。「好きだ」と言えないのは好きじゃないのと同じです。「やる気があっても行動に出ない人と、やる気ないけれどがんばっているように見える人と、チームにはどちらが役に立つ？」「やる気ない人です」「じゃあどうすればやる気があるように見えると思う？」みたいな会話ができればいいですよ。

Q. 子どもたちの心を育てるために言葉がけで気を付けていることは何ですか？

A. すいません、気を付けていません（泣）。けっこうひどいことを言っていると思います。しかし、言い訳をするつもりはないですが、言葉というものは関係性と状況で判断されるものです。「バカ」という言葉一つも、言われた人との関係性、口調、表情で許されたり許されなかったりするものです。これからの時代、問題になりそうな言葉は言わないほうがいいに決まっています。でも、言いたいことを言ってもちゃんと生徒が受け止めてくれる。生徒も言いたいことを言ってくれる。そんな関係ができる方がいいですよ。

一つだけ僕が気を付けていることがあります。何かを言ったあと「～と先生は思うんや」みたいな言葉を付け加えることですね。「おまえはアホか！」というと決めつけになります。「お前はアホか！ と先生は思うんやがどう思う？」というと対話になりますよね。かなりひどい言葉を使ってもこれを付け加えるだけでずいぶん緩和されます。これは万能薬でして、クラスや授業、家庭でも非常に効力を発揮しますのでぜひオススメします。

Q. どうすればバドミントンを好きにさせられますか？

A. いやもう質問の意味が分からない。(笑) バドミントンって素晴らしいスポーツですよ。嫌いになる理由がない。まずタマ拾いがいらぬ。フェンス際で「バッチこーい」とか叫ばなくていい。へたくそ同士でも楽しい。うまくなるとなお楽しい。技がいろいろあって覚えるたびに強くなる。パワーのあるヤツはパワーで、スピードのあるヤツはスピードで、スタミナのあるヤツはスタミナで、賢いヤツは頭で、アホなヤツは根性で戦える。大人になってもできる。大人になってもできるから、恋人もできる。僕は男子中学生によく言います「ええか、今は辛抱や。中学校でやってたら、高校ではレギュラーになれる。レギュラーになったら彼女なんかすぐにできる。その日までがんばれ。」バドミントンを教えて10年目くらいのことです。県の新人戦で初めて団体準優勝して、「これからだ！」という時にはほぼ全員が辞めてしまったことがあります。ちょっとショックで、「もうやめよかなあ…」とかさすがに僕も思いました。その時、何気なく2人だけ残った上級生に聞いたんですよ。「なんでお前は辞めなかったの？」口下手でちゃんと喋られないやつなんです、こう答えたんです。「え、あの一、バドが好きやから…」再びショックですわ。「あーそうか。俺は一生懸命バドミントンを嫌いにさせてたんだな。」「この2人を育ててやらないとバチが当たるわ。」

10年まではスパルタ(死語!)で、卒業した生徒より、辞めた生徒のほうが多かった。教えすぎて嫌いにするくらいなら、毎日ゲームで遊んでる方がいいですよ。強くしようとするとしんどい。しんどきの先に楽しさがあるからそこまでがんばれという気持ちはわかるけれど、バドミントン始めたころは楽しくて、帰れと言われても外で暗くなるまでムシみたいにやってる。あの気持ちを殺しては指導者としての資格がないですよ。

【パート④校務、授業、家庭との両立について】

Q.部活の指導と担任や教科指導の違いは何ですか？

A. これは全然違いますよ。与えられたものを受け入れるしかないクラスや授業と、自分で選んで好きに來ることが出来る部活が同じわけないですよ。僕はいま2年生の担任をしています。学年5クラスの国語を全部見えています。僕は担任と授業はプロです。わかりやすく楽しく一人一人に合わせながら、一人も落ちこぼれることがないように努力します。部活は違います。趣味の世界です。生徒には「土日になったら毎日釣りばかり行っているオヤジ、あれと同じだ。」と言ってあります。山ばかり登っているオヤジや、パチンコばかり行っているオヤジ。みたいなもんだと。違うのは勝ったりすると新聞に載ったりするから立派なことやっているみたいな気になっている。それは大きなカン違いです。「先生はこんなに苦勞して部活に來てるんだ…」みたいな話を延々とする先生がいます。嫌ならやめろよ。生徒はみんな思ってますよ。頼んでないよと。でも趣味だからこそ妥協はしません。理想を追求します。嫌なら來なければいいよ。やりたい者だけですごいことをやろうよ。そういうスタンスです。もちろんそこまでしたくない人もいるでしょう。そういう人はBチームに行ってくださいねというシステムでかわしています。

Q.ほかの職員に対して気を使っていることはありますか？

A. 強い部はねたまれます。そうでなくてもグレーゾーンを探し出して練習しているので、そこまでする必要はあるのか？ と考えている職員は多くいます。昼休みに体育館でサーブを打ってたりするからね。何やっているんだみたいに言われますよ。ですから学校のいろいろな環境整備の時、職員室の片づけや整理の時に、バドミントン部を使ってもらい、学校のために役立っていることをアピールします。生徒には担任が喜んでくれる生徒になりなさいと言ってます。「今年はバドミントン部が5人もいるからすごく助かる。」みたいな。

おまえたちの実力では全国に出るのは難しい。たくさんの人の手を借りるために努力しなさい。ということですね。全国に出たら、形だけでも全員にお土産を買い、会場から絵葉書を出します。絵葉書は選手の家族や市長、教育長にも出します。みんなに愛される応援されるクラブになることは大切です。

Q.部活と家庭の両立のコツを教えてください。

A. あーもうこれは永遠のテーマですね。僕に答える資格はありません。未だにひやひやしています。綱渡りです。いっぱいいますよ。部活がんばりすぎて家庭壊した人。子どもがグレた人。スゴク優秀だったのに、体壊した人。家庭のためにあきらめた人。僕が長くできたことは幸運でした。家族が元気で許してくれているからこそですよ。僕の妻も教員で共稼ぎですけど、一応結婚するときに、「どうしても部活を辞めてほしいと思ったら言ってくれ。辞めるから。でもそれは、右手のために左手を切るほどのことだから、できるだけ我慢してね。」みたいなことを言いました。よく我慢してくれたと思います。あきらめてくれたのかな。捨てられたのかも。(笑)

あえて言うなら、先ほど答えたように自分が立派なことをしていると思わないことは大切です。パチンコオヤジと同じだと思えば何でもできます。部活をさせていただくために努力している姿を見せること。仕事と部活と家族以外に自分の時間などないと言い聞かせること。例えば僕は試合で6:30集合で5:30に家を出るとしたら、4:30に起きて、食洗器の食器を全部出して、食卓並べて、洗濯物を干して、犬の散歩してから出ますね。それくらいしても「お父さんは土日に自分の好きなことばかりして…」と言われる。当然です。部活をさせていただくための我慢です。これに比べれば部活と勉強の両立なんか屁みたいなもんです。

【パート⑤ 保護者対応について】

Q.モンスターペアレントの対応について心がけていることはありますか？

A. ありません。部活ではモンスターには出会ったことはありません。モンスターペアレントをクレーム目的の保護者と規定します。この手の人には特徴があって、クレームが出尽くすと「その言い方はなんや」「それが人の話を聞く態度か」「その目つきが気に入らんのや」とどうしようもないことに難癖をつけ始めます。これは問題解決を目的としていませんから、相手にしても仕方ないです。そこは部活ですから「辞めてください」もしくは「辞めます」で話が終わります。

生徒の扱いで文句が出ている場合は、その問題の解決を図ればいいわけです。ダメなものはダメ。何とかなることは何とかする。ラインをきちんと出しましょう。若い人は1人で対応しないで、ベテランの助けを借りてください。

基本的に親が文句を言うときは、子どもが文句を言っている時です。子どもさえ納得していればまず親は文句を言いません。「あの親は…」と文句を言う前に、生徒から不平や不満が出ないように部活運営を円満にすることが大切です。

Q.顧問と生徒、親の距離感はどうあるべきですか。

A. そんなこと考えたこともないよ（笑）。四天王寺の西上先生とか、園田学園の角先生とか、普段〇〇ちゃんとか呼んで冗談言っているけど、いざノックが始まったら「なにやっとなんじゃ、こら！」みたいな感じで、あこがれますね。僕はまあとりあえず怖いんで、生徒は寄ってきません。ただ、怖くても話ができる関係じゃないといけないので、大事なことは話せる。聞いたことには正直に答える。そういう関係性は大切です。近いか遠いかは問題じゃないですね。親とは距離感を持った方がいいです。というよりは個人差をなくした方がいいです。丁寧にしゃべる人とざっくばらんにしゃべる人みたいに、相手によって対応を変えると信頼感の点で問題が生じます。それから親にしゃべったことは必ず他の人の耳に入ると思ってください。